長期自然体験事業

チャレンジ＆チェンジ！真夏のアドベンチャー2019
～海抜0m～3，000mへの挑戦～

１　ねらい

・富山県の雄大な自然にふれながら、海抜０ｍ～３，０００ｍまでを自力で踏破することにより、達成感を味わわせるとともにチャレンジ精神を育む。

・グループ活動を通して、主体性、自立性、協調性を養うとともに、豊かで自立した人格形成の基礎を培う。

２　期日

キャンプ　　：令和元年８月１０日（土）～１８日（日）　　８泊９日
（ボランティア研修　：令和元年７月１３日（土）～１５日（月・祝）　２泊３日）
（事前説明会　　：令和元年７月１５日（月・祝）　　日帰り）

３　対象

小学５年生～中学３年生

４　参加人数／募集人数／応募者数

１８名／１８名／３３名

５　講師・スタッフ

国立立山青少年自然の家職員	７名
法人ボランティア	６名
国立登山研修所職員	１名
立山ガイド協会登山ガイド	１名

６　ボランティア研修

国立立山青少年自然の家職員	７名
法人ボランティア	６名
立山ガイド協会登山ガイド	１名

	午前	午後	夜
７月１３日（土） １日目	○立山登山	○立山登山	○ふりかえり ○リスクマネジメント
７月１４日（日） ２日目	○自転車行程下見	○自転車行程下見	○ボランティア企画活動 準備
７月１５日（月・祝） ３日目	○事前説明会準備 ○事前説明会	○事前説明会 ○解散	

７　共催・協賛・後援・協力

共催：独立行政法人　日本スポーツ振興センター 国立登山研修所

協賛：富山トヨタ自動車株式会社、大塚ウェルネスベンディング株式会社、池田模範堂、横山冷菓、アサヒ飲料株式会社、日の出屋製菓産業立山本店、北陸コカ・コーラボトリング株式会社北陸地区本部富山支店、コーシン㈱、味の素

後援：富山･石川･新潟各県教育委員会、立山町教育委員会、北日本新聞社、Net３

協力：富山大学高岡キャンパス、高岡市二上まなび交流館、氷見伝馬船実行委員会、高岡市伏木コミュニティーセンター、浜黒崎キャンプ場、富山市大山地域市民センター、富山市牧コミュニティーセンター、富山県立山博物館、富山県立山カルデラ砂防博物館、学校法人上智学院、立山室堂山荘

８　日程

	午前	午後	夜
８月１０日（土） １日目		受付 14:00～ 出会いの集い　　班タイム	仲間作り活動 ※自然の家（本館）泊
８月１１日（日） ２日目	富山大学高岡キャンパスへ 移動・自転車練習	二上まなび交流館へ移動・ 仲間作り活動	班タイム ※二上まなび交流館泊
８月１２日（月） ３日目	自転車行程①　二上まなび交流館～氷見（伝馬船乗船体験） ～浜黒崎キャンプ場（野外炊事）		班タイム ※浜黒崎キャンプ場泊
８月１３日（火） ４日目	自転車行程②　浜黒崎キャンプ場～国立登山研修所		班タイム ※登山研修所泊

８月１４日（水） ５日目	立山信仰の話	カルデラ砂防博物館見学	スポーツクライミング体験	パッキング	班タイム ※登山研修所泊
８月１５日（木） ６日目	登山行程①　千寿ヶ原～美女平～弘法～弥陀ヶ原				星空観察、班タイム ※六甲学院立山ヒュッテ泊
８月１６日（金） ７日目	登山行程②　弥陀ヶ原～天狗平～室堂ターミナル～室堂山荘				班タイム ※室堂山荘泊
８月１７日（土） ８日目	登山行程③　室堂山荘～一ノ越～室堂山荘～室堂ターミナル				ファイナルパーティ ※自然の家（本館）泊
８月１８日（日） ９日目	活動のまとめ・発表会		別れの集い 解散 14:00		

９　参加者からの感想

- これまでは、「あとでやる」など、いつも自分に甘いことを言って後回しにしていました。でも、ぼくは、８泊９日を通して積極的に取り組むことができるようになったと思います。「〇〇やって」「次は〇〇だよ」と言われたときに、前向きな気持ちで関わることができました。パッキングの時には、まず自分の分を先に終わらせ、友達を手伝いました。今までの自分にはありえないことです。行動を共にする仲間がいたから自分が変われたのだと思います。自分を甘やかさない行動は、家に帰ってからも続けたいと思います。
- 面倒くさいこと、やらなくていいと思うことは、いつもすぐにあきらめていました。チャレンジ＆チェンジで、「あきらめ」が許されない環境に自分を置くことで、粘り強くゴールを目指すことができました。あきらめてしまうことが、結果を変えてしまったり、出るはずだった結果にたどり着けなかったりすると思います。日常生活でも同じことが言えると思うので、目標に向かって全力で取り組みたいと思います。
- 私は、「どうせ～」といったマイナス思考で、自分から逃げてばかりいました。しかし、今回は違いました。自分の力でゴールまで行きたい、と思う気持ちが自然とわいてきました。自分が決めたところまで、気持ちをしっかりと絶やさずにたどり着くことができました。また、自分の目で見た自然の雄大さは心がまるで吸い込まれるようでした。自然のすばらしさ、一緒にいた仲間、スタッフやボランティアのみなさんのおかげで、新しい自分に出会うことができたのだと思います。辛いこと、苦しいことが山ほどありましたが、困難を乗り越えられた時が自分を変えられる瞬間だと思います。この経験を弾みに新しい自分に向かってチャレンジしたいです。

１０　成果

- ●参加者、保護者双方より、前向きな態度で取り組めるようなった、粘り強く行動できるようになったなどの声が聞かれ、非認知的能力の高まりをうかがい知ることができた。
- ●キャンプ中の日々のチャレンジ（挑戦）とチェンジ（変容）を毎日記入する「チャレ・チェンカード」は、内容を簡潔にし、記入の負担を少なくして振り返りをすることで、個々の目標について、班員全員で共有し、互いに意識したり、指摘し合ったりすることに時間をかけることができた。
- ●２日目の午後に行った仲間づくり活動では、時間をとり、活動の振り返りまで時間が確保されたことで、相互の理解を深めることができ、個人の内面を高めるための一助となった。

１１　今後の課題

- ●参加者の発達段階の差を十分に考慮して、ルート・移動手段・時間設定の変更や活動内容の精選を行うとともに、効率的かつスムーズな行程の進行のために他施設の利用も考えていく。夏場の猛暑、また緊急事態への対策、対応をスタッフ間で共有しておく。
- ●子供が自主的に活動する場面を創出できるように、プログラムの内容・配列等を工夫する。